

年頭のご



白鷹町議会議員
青木 彰 榮

町民の皆さまには、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、2月の記録的な豪雪、4月の爆弾低気圧による暴風被害と、一昨年の東日本大震災に続き、大きな自然災害が発生いたしました。

また、10月の白鷹町長選挙においては、佐藤町長が無投票当選を果たし、実質2期目がスタートいたしました。過去4年間の成果を踏まえ、町長が提唱する共創のまちづくりをベースにした、明るい未来が展望できる施策の展開を切に願うものであります。国政においては、12月に衆議院総選挙が行われ、自民党が圧勝する結果となりました。

当議会においては、昨年3月に議会活性化特別委員会を設置し、皆さまの負託に応えられる議会をどう作り上げればよいか議論を進めております。その中で、昨年は通年の予算特別委員会を設置し、補正予算についても、その特別委員会の中で審議することにいたしました。今後も、議会基本条例の制定や議員定数等について検討を進めてまいりたいと考えております。

わが町は今、第五次総合計画を進めるなか、懸案でありました荒砥高校存続や荒砥橋の具体的な整備への目途がつくなど、明るい話題も見えてきたところではありますが、人口減少や役場庁舎周辺の再配置整備など、課題も多く抱えております。

議会といたしましても、町民の皆さまの声を拝聴し、課題解決に向けてさらなる努力をするとともに、当局と常に適度の緊張感を保ちながら、両輪としての議会の立場を忘れることなく、負託に応えてまいれる所存であります。

以上、年頭にあたり所感と決意の一端を申し上げ、町民の皆さまの幸せを願いながらごあいさついたします。